◆◆◆◆◆メールマガジン「事業用自動車安全通信」第１６号（Ｈ２１．９．１８）◆◆◆◆◆◆

＝目　次＝

１．重大事故情報＝４件（９月１１日～９月１７日分）
（１）停車中路線バスの出火事故
（２）トラック運転者のひき逃げ等の疑い逮捕
（３）わき見運転によるトラックの追突事故
（４）路線バスの対向車衝突事故

◇◇

【１．重大事故情報＝４件】（９月１１日～９月１７日分）

（１）停車中路線バスの出火事故
～使用状態を考慮した点検・整備の徹底を！～

９月１３日午後４時５５分頃、神奈川県で路線バスがバス停で乗降扱にて停車していたところ、乗客より当該バスの後部エンジンルームより出火しているとの通報があったため、乗客を非難させるとともに当該バスの運転者が消火作業を行ったもの。

この火災により、当該バスのエンジンルームの一部を焼損した。

路線バスは、事故当時、乗員乗客約２０名が乗車していたがすべて避難したため、ケガ人はなかった。

なお、火災の原因等詳細については、警察等が調べを進めている。

（車両情報）車名：ニッサンディーゼル、型式：ＵＡ４６０ＫＡＭ
初度登録年月：平成１０年１月（１１年経過）

（２）トラック運転者のひき逃げ等の疑い逮捕
～事故が起きたときの負傷者の救護義務の指導・監督の徹底を！～

９月１６日午前１時４０分頃、東京都でトラックが走行中、二人乗りのオートバイが単独事故を起こして転倒し、投げ出された後部座席に乗車していた者に気付かず轢過した。

この事故で、撥ねられたオートバイの同乗者が死亡した。

なお、当該トラック運転者は、事故後、負傷者の救護措置をすることなく現場より立ち去り、営業所に戻った後、ドライブレコーダを確認したところ、人を轢いたことがわかったため現場に戻ったもの。

その後、当該トラック運転者は、道路交通法違反（救護義務違反）及び自動車運転過失致死の疑いで逮捕された。

事故の原因等詳細について、警察が更に調べを進めている。

（３）わき見運転によるトラックの追突事故

～周囲の状況に注意し安全に運転するために留意すべき事項の徹底を！～

９月１６日午前１１時３０分頃、茨城県で走行中の大型トラックが前方の軽自動車に追突し、追突された軽乗用車は道路脇にはじき飛ばされた。

また、大型トラックは更に前方のワゴン車に追突し、追突されたワゴン車は、前方の大型トレーラとの間に挟まれ大破するという計４台が関係する事故となったもの。

この事故により、ワゴン車に乗っていた６名等計１０名がケガを負い病院に搬送され、現在のところ３名の死亡が確認されている。

トラック運転者は､｢携帯電話をかけようと思って止める場所を探して脇見をしていたら前に止まっている車に気づくのが遅れた｣と話しており、事故の原因等詳細について、警察が調べを進めている。

（４）路線バスの対向車衝突事故

９月１２日午後１時２０分頃、北海道で路線バスが走行中、車線をはみ出してきた対向の乗用車と正面衝突した。

この事故により乗用車の運転者１名が死亡し、同乗者１名が軽傷を負った。なお、バスの乗員乗客１３名にけがはない。

事業者からの報告によると、乗用車の運転者が気を失っていたとの情報があり、警察が事故の詳細について調べを進めている。

◇◇

【メールマガジン「事業用自動車安全通信」】

発行　国土交通省自動車交通局安全政策課

＊このメルマガについてのご意見は、＜jiko-antai@mlit.go.jp＞までお寄せください。

よくある質問（　http://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/anzenplan2009/faq.html　）

自動車交通局ホームページ（　http://www.mlit.go.jp/jidosha/index.html　）

◆◆